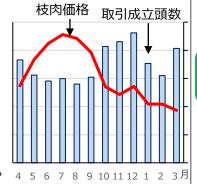
# 肉豚経営安定交付金(豚マルキン)の主産物価格の算出方法①

# このページでは主産物価格の算出方法を説明します。

- 豚マルキンでは、25か所の中央及び 地方卸売市場の取引データを基に主 産物価格を算出しています。 (「等外」は除く)
- 豚肉流通は、右のグラフのように夏場は取引頭数が少なく、枝肉価格が堅調、冬場は逆に取引頭数が多く、枝肉価格は軟調になるという傾向があります。



➤ このため、各月の平均枝肉価格・平均枝肉重量を単純平均により計算してしまうと、算出期間における1頭あたりの適正な枝肉価格・枝肉重量が反映されません。



これを回避するため

算出期間全体を1つの集団として、その取引成立頭数、1頭ごとの 枝肉価格及び枝肉重量を集計し主産物価格を算定します。

## 【主産物価格の算出方法①】

まず、算出期間における平均枝肉価格を計算します。

①平均枝肉価格(円/kg) = 一 管出期間

= 算出期間の総価額\*1 (円) 算出期間の総重量\*2 (kg)

※1 総価額 算出期間中に取引成立した1頭ごとの取引価格※3の合計 ※3 枝肉価格 (円/kg)×枝肉重量(kg/頭)

※2 総重量 算出期間中に取引成立した1頭ごとの枝肉重量の合計

### 【主産物価格の算出方法②】

次に、平均枝肉重量を計算します。

②平均枝肉重量(kg/頭) = 算出期間の総重量<sup>※2</sup>(kg) 算出期間の総取引成立頭数<sup>※4</sup>(頭)

- ※2 総重量 算出期間中に取引成立した1頭ごとの枝肉重量の合計
- ※4 総取引成立頭数 算出期間中に取引成立した頭数

## 【主産物価格の算出方法③】

①と②で計算した平均枝肉価格と平均枝肉重量を乗じて主産物価格を 計算します。

#### 主産物価格(円/頭)=

①平均枝肉価格(円/kg)×②平均枝肉重量(kg/頭)

## とある年度の場合(イメージ)

	総価額(千円)	総重量(kg)	総取引頭数(頭)
4 月	5,600,000	12,000,000	166,000
5月	5,000,000	11,110,000	144,000
6月	6,100,000	11,340,000	148,000
•	•	•	•
	•	•	•
	•	•	•
1月	5,500,000	12,221,000	157,000
2月	5,200,000	11,700,000	151,000
3月	6,100,000	13,000,000	176,000
計	65,000,000 <b>A</b>	135,000,000 B	1,800,000 C

※このデータは計算方法を示すための架空の値であり、 実際のある年度の数値ではないことに留意。

#### ①平均枝肉価格(円/kg)

【計算はすべて税抜き】

 $= \mathbf{A} \div \mathbf{B}$ 

=65,000百万円÷135,000 ト>

= 481 円/kg

#### ②平均枝肉重量(kg/頭)

= B ÷C

=135,000<sup>ト</sup>>÷1,800千頭

= 75.0kg/頭



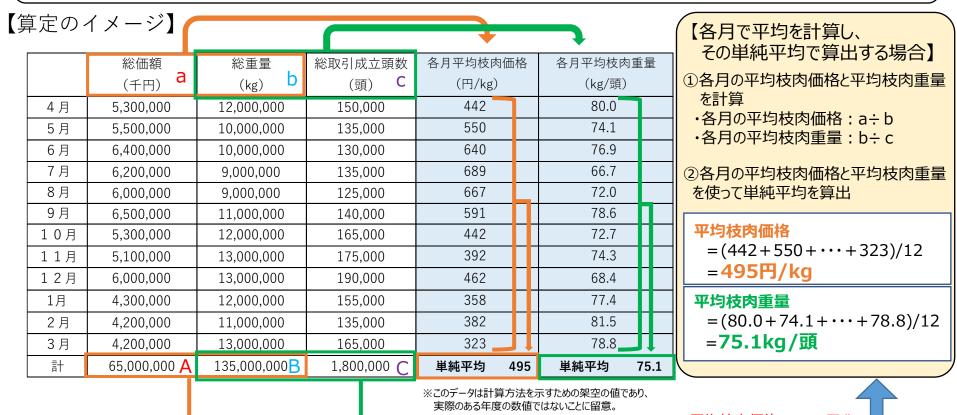
主産物価格 =1×2

36,075円/頭(主産物価格)=

481円/kg (平均枝肉価格 )×75.0 kg/頭(平均枝肉重量)

# 肉豚経営安定交付金(豚マルキン)の主産物価格の算出方法 ②

このページでは、各月の単純平均により計算した場合と主産物価格の算出方法で計算した場合を比較します。 (計算はすべて税抜き)



【豚マルキンの方法で計算する場合】

①平均枝肉価格 = A÷B

= 65,000百万円/135,000ト>

= 481 円/kg

②平均枝肉重量 = B ÷C

= 135,000 / /1,800千頭

= **75.0**kg/頭

平均枝肉価格: -14円/kg 平均枝肉重量: -0.1kg/頭

> 豚マルキンの算定方法により、 頭数、価格の季節変動を適 切に算定している。